



物忘れが気になったら…

早期診断・早期対応のために

○認知症初期集中支援チームの訪問事業

白鷹町では、委託医療機関の医師、看護師、保健師、精神保健福祉士、介護福祉士、作業療法士、臨床心理士等を構成員とするチームを設置しています。チーム員による訪問（月1回・約半年間）を行い、物忘れに対してご本人やご家族への継続的なサポートを行います。

《対象》

○現在、医療・介護サービスを受けていない、または医療・介護サービスを中断している40歳以上の方で、在宅で生活している認知症が疑われる方

○医療・介護サービスを受けていても、ひとり暮らしや高齢者のみの世帯で介護者も認知症が心配になった等で対応に困っているご家族や関係者

《内容》

① ご自宅への訪問（初回訪問）

チーム員2名がご連絡の上、ご自宅を訪問し、ご本人やご家族から認知症の病状や症状、困っていることなどについてお話しをお聞きします。

② 支援方針に沿ったサポート（継続訪問）

初回の訪問の結果をもとに会議で支援方針を決定し、その支援方針に沿ってその方の症状やご家族の状況にあった継続的な支援を行います。介護方針や対応についての助言、必要に応じた医療機関の受診や介護サービス利用の支援等の助言を行います。



○物忘れ相談

白鷹町では、物忘れが心配な方や、ご家族の物忘れでお困りの方のために認知症専門医による相談会を年3回開催しております。

《内容》認知症専門医による相談会の開催（完全予約制）

《場所》健康福祉センター（白鷹病院となり）

《日時》予約の際に詳しくご案内いたします

～住み慣れた地域で、できるだけ長くその人らしく生活できるように～

お気軽にご相談ください

白鷹町社会福祉協議会

地域包括支援センター 【電話】0238-86-0112

